

加藤大平選手 新シーズンに向け好調 サマー大会でバツグンの安定感

ルディックスキーク複合競技、ソチオリンピック日本代表の本町出身、加藤大平選手（31）が北海道で開催されたサマースキー大会に出場しました。

7月24日には士別市朝日町で開催の全日本サマーコンバインド大会に出場。前半9kmのローラースキーでは3位になるも、後半得意とするジャンプでは63m（K点60m）の最長不倒をマークし、総合2位に。

加藤選手は「走りは良かったし、ジャンプのタイミングも良かった。あとは着地が課題です。状態はともいいで、しっかり修正していきます。」と話していました。



7月26日には名寄市で開催のサマージャンプ大会に出場。葛西紀明選手や伊東大貴選手などのジャンプメダリストの参戦する中、13位と健闘。「ジャンプの状態は良く、飛んでいる感じはする。」と言うように、1本目90m、

2本目89m（K点90m）と安定した飛距離を見せました。「着地に精彩を欠いた」と話すも、富井コーチは「ジャンプ選手と大きな開きはなく、状態はとても良い。」と太鼓判を押していました。

8月2日には札幌大倉山で開催のサマージャンプ大会に出場。優勝した伊東大貴選手に次ぐ2番目の飛距離131m（K点120m）を見せた加藤選手は本大会もジャンプメダリストが多く参戦する中、堂々の4位入賞。



この遠征で自身最高の成績と抜群の安定感を見せた加藤選手は、9月から全日本合宿や、サマーグランプリヨーロッパ大会遠征、11月にはいよいよシーズン本番です。加藤選手には、新シーズンも日本のトップ選手として、熱い期待がかかります。

トップアスリートの 熱い指導

未 来のトップアスリート全力サポート事業2015 加藤大平選手に学べ！トップアスリートクロスカントリー教室が、7月25日に総合体育館で開催されました。



「子どもたちに技術を教えて、トップ選手となる手助けをした。」という加藤選手の熱い思いから実現したこの企画に、全日本ルディック複合コーチの富井彦氏と、加藤選手の下川商業高校時代の1学年後輩の現役複合選手で、日本トップクラスの久保貴寛選手もこの教室に駆けつけました。

冒頭、加藤選手から、「強くなるには、有酸素運動や筋力トレーニング、コーディネーショントレーニング、頭のトレーニングをおこなうこと。練習の質を上げ、うまい人のマネをすることも重要。」と話し、加藤選手と久保選手は中学生と一緒にローラースキートレーニングへ。富

井コーチは小学生と屋内体育館でトレーニングを開始。富井コーチは「楽しみながらトレーニングをすることが大切。」と話していました。



熱心に子どもたちに指導する加藤選手（写真上）と富井コーチ（写真左）



道内各地から集まった40名の参加者からは、「オリンピック選手から学ぶことがたくさんあり刺激になった。オリンピック選手をめざしたい。」「富井コーチの練習方法が大変勉強になった。来年も開催してください。」と大盛況の教室となりました。北海道遠征の試合の合間にもかかわらず、指導いただいた加藤選手、富井コーチ、久保選手、大変ありがとうございました。